

2010「話してみよう韓国語」福島大会 実施要項

◆ 開催日時： 2011年2月6日(日) 13:00～

◆ 会 場： 福島市市民会館
住所 福島市霞町1番52号

アクセス:福島交通バス市内循環「附属小学校前」停留所より徒歩1分、
福島駅から徒歩20分

◆ 主催 NPO 法人ふくかんねっと

◆ 表彰： 最優秀賞(各部門別)、優秀賞(各部門別)、韓国文化院長賞、敢闘賞など

※各賞は予定が変更になる場合があります。

◆ 参加部門

● 中高生の部(韓国語の履修単位数が4単位以下の中高生)

1) 指定スキット部門

● 一般の部(初級または中級以上の学習者)

1) 指定スキット部門

2) 創作スキット部門

3) スピーチ部門

◆ 応募受付期間： 2010年12月1日(水) から 2011年1月15日(土) まで
(必着)

◆応募先・応募方法

【応募先・問い合わせ先】

ふくかねっと事務局「話してみよう韓国語福島大会」

① 郵送又はファックスの場合

〒 960-2261 福島市町庭坂字荒町59-1

(電話) 024-591-4892 (Fax) 024-591-4902

② Eメールの場合

fukukannet4892@bz01.plala.or.jp

URL : <http://kan-net.web.infoseek.co.jp/>

【応募方法】

- 1) 所定の参加申込書を期日までお送りください。
- 2) 「創作スキット部門」、「スピーチ部門」へ参加される方は、発表原稿及び日本語訳を併せて期日までに提出してください。

★ 参加申込書はふくかねっとWEBサイトよりダウンロードしてください。

<http://kan-net.web.infoseek.co.jp/html/koen/20110206hanasitemiyo.htm>

●注意事項

- 1) 2名で参加の場合は、同一の封筒に入れてお申し込みください。(郵送の場合)
- 2) 複数部門の申し込みはできません。
- 3) 申込後に参加者の変更することはできません。
- 4) 創作原稿のある部門(「創作スキット部門」、「スピーチ部門」)は、募集締め切り後に内容を変更することはできません。
- 5) BGMを流す場合、BGMは各自ご用意ください。
- 6) 提出された書類は一切返却できませんのでご了承ください。

◆参加資格

<全ての部門に共通>

- (1) 韓国語を母国語としない中学生以上の者、国籍は問いません。
- (2) 応募時点から過去1年以内に、他の韓国語スピーチコンテストで本選に入選したことがない者。過去のスキット部門入賞者は、本大会の一般の部「創作スキット」「スピーチ」部門に限り応募できます。

● 中高生の部について

※ 次の基準を超える中高生は、一般部門への参加となります。

- (1) 応募時に日本の中学校・高等学校等で外国語として韓国語を学習しており、本大会(2月6日)までの韓国語の履修(見込み)単位数の合計が4単位以下で、20歳未満の者
- (2) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が一か月以内の者。
- (3) 独習している中高生は、学習歴が(1)に準ずる者。

● 一般の部について

- (1) 中高生の部の参加資格に該当しない中高生: 以下ご覧下さい。
 - a) 本大会(2月6日)までの履修(見込み)単位数の合計が4単位を超える者
 - b) 本大会(2月6日)現在時に、満20歳以上の者
- (2) 大学生: 応募時に日本にある大学・短大・専門学校等で外国語として韓国語を学習しており、大会日(2月6日)までの韓国語の履修(見込み)単位数の合計が4単位以下の者
- (3) 一般: 応募時に韓国語学習歴が2年以内で、大会日(2月6日)までの学習時間が100時間を超えない者。
- (4) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が1か月以内の者。
- (5) 独習者等は、(1)から(4)の要件に準じます。
※韓国語能力検定試験初級、「ハングル」能力検定試験4級または5級程度の学習者を想定しています。

◆ 中高生の部 <指定スキット部門>

:2人1組で挑戦します。制限時間3分。

指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。台本の本文自体を変えることはできませんが、文末の表現や文章の一部追加・変更をすることができます。(本文の3分の1程度まで)。台本を読み上げることはできません。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

★ 指定台本ダウンロード(中高生) [友だちの誕生パーティー](#)



(過去の大会の様子)

◆ 一般の部 <指定スキット部門>

:2人1組で挑戦します。制限時間3分。

指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。台本の本文自体を変えることはできませんが、文末の表現や文章の一部追加・変更をすることができます。(本文の3分の1程度まで)。台本を読み上げることはできません。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に、小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

★ 指定台本ダウンロード(一般) [食堂で](#)



(過去の大会の様子)

◆一般の部<創作スキット部門>

:2人1組で挑戦します。制限時間 2分30秒~3分以内。

指定された場所設定で2人以上の人物が登場するスキットを創作して暗記し、2人1組で韓国語の発音・表現力、創作力を競います。台本を読み上げることはできません。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

★ 指定場面:「空港」(航空会社カウンター、出入国審査、税関、機内など)での会話

★ 登場人物: 2名以上であれば自由に設定してください

(1人2役以上などで、3名でも4名でも可能です。ただし、2人で演じます)

例えば、「入国審査官と旅行者」、「税関審査官とビジネスマン」、「パイロットと客室乗務員」、「旅行者同士」、「客室乗務員同士」など、自由に登場人物を設定し、2分30秒~3分以内のスキットを創作してください。

※台本の創作例は、スキット部門の台本をご参考にしてください。



(過去の大会の様子)

◆一般の部<スピーチ部門>(独自部門)

:1人での挑戦になります。制限時間 4分。

自分でスピーチ原稿を作成、暗記し制限時間以内で発表します。韓国との交流促進に資する内容の発表であることが前提となります。台本を読み上げることはできません。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。



(過去の大会の様子)

◆ 審査基準

※ () 内の数字は100点中の配点です。

<指定スキット>

- ・発音 (40) — 正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ
- ・総合表現力 (30) — 話す速度、強弱、身振り手振り、感情表現などアドリブを含む
- ・暗唱 (10) — 原稿を見ないで暗唱
- ・制限時間以内 (10)
- ・質疑応答 (10)

<創作スキット部門>

- ・発音・表現 (30) — 正確さ、イントネーション、聞き取り、話す速度、強弱、感情表現など
- ・文章力・構成 (50) — 内容、語彙的な問題、誤用、起承転結など
- ・暗唱 (10) — 原稿を見ないで暗唱
- ・質疑応答 (10)

<スピーチ部門>

- ・発音 (20) — 内容、談話構成
- ・制限時間 (20)、文法語法 (20)、流暢さ (20)、
- ・発表態度 (20) — 落ち着き、感情表現、声量、暗唱等